

平成27年度 事業計画

1 基本計画

国の経済情勢は、経済の再生に向けた「機動的な財政政策」と「大胆な金融政策」第三の矢となります「民間投資を喚起する成長戦略」の推進や円安効果等により、企業収益の上昇といった効果が表れて来ています。それに付随して、有効求人倍率や賃金引き上げにおいても比較的高い数値を示すなど、経済情勢は前向きの動きが続いています。

しかしながら、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動等や個人消費等にまだ弱さが見られることから、景気回復の兆しに乏しい地方においては、雇用の拡大や賃金の上昇について、都市圏のように急速な改善は見込めない現状にあります。このことから、就業拡大や契約に係る業務量の拡大については、依然として厳しい状況が続くものと懸念されます。

また、我が国は、少子高齢化が急速に進行し、高齢化社会とともに労働人口減少社会を迎えています。本市においても、65歳以上の老年人口が26%を超える状況の中で、健康で働く意欲のある高齢者の活用が必須になります。したがって、生涯現役の気持ちを持って活躍できる社会環境の整備とともに、当シルバーとしても、地域社会の担い手として活躍できる会員拡大の課題があります。

このような状況の中、当シルバーは、平成27年度事業計画において、5年連続で、受託事業収益の増収を見込んでいます。これは、平成23年度に4年振りに2億円台を回復して以来、平成24年度から平成26年度まで順調に実績を伸ばしていることによるもので、今後とも、公益社団法人として、市民の皆さんの信頼を得ながら、地域における就業を通して社会づくりに寄与するという、社会的な使命を果たしていかねばなりません。

「自主・自立、共働・共助」のシルバー理念のもとに、関係機関との連携を一層強めながら、会員役職員一体となって、持続的で安定的な事業運営の確立を目指していきます。

このことから、平成27年度においては、次の6つの重点事業を掲げ、公益目的事業であるシルバー事業を着実に推進します。

- 就業機会の確保・拡大
- 会員数の拡大
- 安全・適正就業の一層の推進
- 普及啓発事業の強化
- 組織及び運営基盤の強化
- ボランティア活動の充実による社会参加の一層の推進

2 事業実施計画

(1) 就業機会の確保・拡大

①受託事業

「^{いち}一^{いち}会員一就業先開拓」を目標に、請負又は委任による受託事業の拡大を図ります。

地域や事業所等の就業ニーズを的確に把握し、受注件数 2,850 件（前年度当初比 1.8%の増）、就業延人員 66,000 人日、契約金額 2 億 2,465 万円（前年度当初比 1.8%の増）を目指します。

女性の活躍を求めているという事業所等のアンケートにみられるように、就業先を拡大するため、女性会員の確保に取り組みます。

②一般労働者派遣事業

一般労働者派遣は、発注者の指揮命令の下での就業が可能であるため受注できる仕事が幅広く、企業等のニーズに応えることができると考えています。

国は、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」として一般労働者派遣による就業機会の確保・拡大を推進しています。

受注件数 20 件、就業延人員 3,600 人日、契約金額 1,700 万円を目指します。

③有料職業紹介事業

臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する高齢者のために、有料の職業紹介を行います。

④家事援助・生活援助事業

一般家庭の家事援助や高齢者世帯に対する生活援助の需要に応えるため、就業会員の確保や育成に取り組みます。サービスの提供に必要な知識、技能及びマナーの習得を目的とした講習会を実施し、サービスの向上に努めます。

⑤高齢者世帯への軽度生活援助事業

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも元気で安心して暮らせるよう、天童市が高齢者のみの世帯に対して実施している本事業については、申請件数が年々伸びており、就業会員の確保が大きな課題になっています。

会員が幅広く仕事に対応できるようコーディネートを強化し、高齢者世帯の福祉の向上とさらなる地域貢献を目指します。

(2) 安全・適正就業の一層の推進

①安全就業・就業マナーの向上

「安全は、すべてに優先する」を徹底するため、安全パトロールを強化するとともに、会員の健康管理と作業前の安全点検を行う等、事故の未然防止の徹底に取り組みます。

さらに、安全就業及び就業マナーの向上を推進します。県内では、高齢者の交通事故が多く発生していることから、交通安全講習も実施します。

②適正就業

請負・委任事業と一般労働者派遣事業を適正に区分するため、適正就業に係る国の区分基準について具体的かつ明確に理解し、就業内容に合致した事業になるよう、適正就業の一層の推進に努めます。

③就業調整

公平な就業機会を提供するため、ローテーション就業の徹底を図り、より多くの会員が就業できるように調整します。

また、就業機会を向上させるため、「就業相談日」を月1回開催します。

④地域班・職群班の強化

地域班は、会員相互の連帯意識をもとに、地域での就業ニーズの発掘や新規会員獲得が期待できるほか、ボランティア等でシルバー事業のPR効果を高める重要な組織です。

その活動は、地域によっては停滞が見られますが、各班長・副班長の尽力と会員の意識の高まりにより、参加者が増加傾向にあります。会員の皆さんは、地域班活動に積極的に参加して、地域の絆を深めていきます。

職群班は、仕事を安全かつ適正に行うための重要な組織です。

就業の場所ごと、あるいは職種ごとに班を編成し、会員の共働・共助を推進し、発注者との信頼関係をさらに強化します。

⑤技能講習の実施

発注者のニーズに応えるため、会員の技能向上を目的とした講習会を実施するとともに、市内の一般高齢者を含めた高齢者の雇用・就業機会の確保を促進するための講習会を実施します。

(3) 普及啓発事業の強化

①会員の確保

全国で会員100万人の目標を達成するために、会員数の目標を650人とし、広報「シルバーてんどう」の発行や「のぼり旗」の掲揚、ホームページの更新等を通して、会員の拡大に積極的に取り組みます。

家事援助・生活援助事業の就業体制を強化するため、女性会員の確保に努めます。

シルバー事業を市民の皆さんに広く理解していただくため、マスコミ（市報・新聞・テレビ等）の協力を得ながら、シルバー事業の普及啓発に積極的に取り組みます。

②入会説明会の開催

市内に居住する 60 歳以上の方への入会説明会については、開催回数を増やすことで、社会参加と生きがいを希望する健康で働く意欲のある会員の確保に努めるとともに、シルバー事業に対する市民の理解が広がるよう取り組みます。

③子育て支援事業

天童市の補助事業の一環で運営していた親子の広場「子育てサロンのびのび」は、市の3ヵ年事業計画の中で平成 26 年度が最終年のため、継続事業として要望はしましたが認められず、昨年度末で閉館しました。

一方、小学生を対象とした笹巻き・門松づくり等の「みどりのスクール」は、参加者から好評を得ていることから、今年度も夏・冬・春休みに開校します。

(4) 組織及び運営基盤の強化

① 国・市の補助金については、削減を行わないよう求めるとともに、公共事業に係る就業の場の提供について、引き続き要望していきます。

② 国の「生涯現役社会活躍応援事業」に対応するため、新規入会 80 人、就業延人員 66,000 人日を目標に基盤拡大に取り組むほか、中期事業計画を策定しながら、運営基盤の強化を進めます。

③ 会員一人ひとりがシルバー事業に参画します。

総会、地域班会議、地域班ボランティア活動、一斉ボランティア活動、技能講習その他の事業（もみじ会を含む）のいずれか1つ以上に出席・参加することを、今年度の努力目標に定めます。

一度も参加できなかった会員には、それぞれの事情を考慮したうえで、翌年度の事業等に必ず参加していただくよう通知文を送付します。

(5) ボランティア活動の充実による社会参加の一層の推進

地域に密着した社会奉仕活動の一層の推進を図ります。

ボランティア活動を強化するために、地域班ごとの社会奉仕活動を核として、一人一ボランティア活動を推進します。活動時には、お揃いの「ビブス」を着用し、市民にアピールします。